

## がん患者・家族（当事者）の よりよい治療選択と闘病生活のあり方を考える — 電話相談を中心に

電話相談は、当事者の「いま」に耳を傾けることにより、「いまからどう過ごせばよいか」を支援することです。がん患者さん・ご家族が医療をよりよく受けるために、そして、患者さん・ご家族を取り巻く人々とのコミュニケーションがよりスムーズにいくために、さらにどのような支援ができるかを、ともに考えましょう。

対象者： がん相談支援を行っている相談員、相談員の教育・育成、相談センターのしくみづくりに携わっておられる方、および、がん患者さんのサポート・グループの運営に携わっておられる方  
※医療機関、患者支援団体、民間企業などのご所属は問いません

参加費： 15,000 円（消費税込）

定 員： 40 名程度

日 程： 2011 年 7 月 9 日（土）・10 日（日）の 2 日間  
初 日 13:00～17:00 （開場 12:30）  
2 日目 8:30～15:00 （昼休 1 時間） ※終了後、懇親会を行います（希望者）

会 場： スター研修センター神田（東京都千代田区神田美土代町 3-2 神田アベビル 5F）

主 催： 特定非営利活動法人（NPO）日本臨床研究支援ユニット がん電話情報センター

協 力： NPO 血液情報広場・つばさ、NPO 白血病研究基金を育てる会



がん電話情報センター（Cancer Telephone Information Service: CTIS）は、2008 年に NPO 日本臨床研究支援ユニット（J-CRSU）と厚生労働科学研究班「高山班」\*との協働で設立され、全国のがん患者さん・ご家族、一般の方々からのご相談をお受けしております。

この相談サービスの基調となる考え方は、1980 年代の草の根の骨髄バンク設立運動の流れで生まれた、市民による相談活動の姿勢 = 共感と傾聴 = です。これまでの 6 千件以上にわたる電話相談の実績と、がん情報サービスの理論とを融合させたトレーニング・プログラムや対応マニュアルの作成に取り組んでいます。また、医療関係者、患者会、支援団体との連携による個別相談会の実施や、講演会・ラジオ番組を通じての啓発活動も行っています。

今回の講師陣は、当時の高山班\*のメンバーです。

CTIS は、協和発酵キリン株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、アフラック（順不同）、および、個人の方々からのご寄付、各種団体・企業のご支援をいただいで運営されております。

### CTIS の使命：

よりよい闘病を支えます

- ・非営利の中立的な市民活動の目線から、匿名性を尊重します
- ・主治医や周囲の人々との関係が良好になるように支援します

正しい情報を伝えます

- ・医学的な判断や良し悪しの評価はしません
- ・科学的根拠のある信頼できる情報を提供します
- その人らしさを尊重します

- ・相談員の個人的な立場、好み、信条は伝えません
- ・相談者の不安やさまざまな思いを引き受け、ご本人の中にある答えを見つけるお手伝いをします

\*厚生労働科学研究費補助金第 3 次対がん総合戦略事業「患者・家族・国民の視点に立ったがん提供サービスのあり方に関する研究（高山班）」平成 19～21 年度

## ● プログラム

講師敬称略

### 《1日目》

13:00～13:15	はじめに・全体説明 NPO 日本臨床研究支援ユニット理事長 大橋靖雄 ほか
13:15～14:15	①講義「《語りを受け止める》という支援のあり方」 講師： がん電話情報センター 相談主任 橋本明子 患者サポートの基本理念と電話相談の考え方。電話相談の特徴と注意点を理解し、声によるコミュニケーションを通じて、よりよい治療選択と闘病生活の支援がどのようにできるかを学習します。
14:15～15:15	②講義「質の高い相談とは何か、その質を維持するための方策とは」 講師： 埼玉大学 教育学部 関由起子 「良い相談をしたい」とは、相談を行うものなら誰でも思うことです。けれども、それはどういうことなのか、具体的に言おうとしてもなかなか難しいのではないのでしょうか。質の高い相談とはどういうものか、これまでの研究活動の中で明らかになってきたことから考え、実践へのヒントを探りましょう。
	休憩 (15分)
15:30～17:00	③参加者の自己紹介 翌日のグループ演習を前に、簡単な自己紹介をお願いします。 内容については、事前にお知らせします。

### 《2日目》

8:30～9:30	④講義「話しの聴き方、応え方」 講師： がん電話情報センター 相談主任 橋本明子 電話相談の流れと、傾聴による聴き取りと対応のポイントについて学びます。 困ったエピソードと、その対応例（怒りの電話、積極治療がもうできない、死にたい、といわれた...）についても採りあげます。
9:30～10:30	⑤グループ演習 ケース 1 ケースを音声で聴いて、対応のポイントについて、グループ討議と全体討議を行います。
	休憩 (15分)
10:45～11:45	⑥講義「がんの相談支援の実際」 講師： 神奈川県立がんセンター 医療相談支援室 清水奈緒美 がん患者や家族から寄せられる相談の中から、わりあいによく対応を迫られる問題に、焦点をあてて学習します。医療者と患者・家族間のコミュニケーションのギャップや治療への疑問に、どのように対応するかなど、傾聴とニーズのアセスメントの先に求められる方法の提案までを含めて学習します。
11:45～12:45	昼休み (60分) ※昼食は各自ご用意ください (お弁当の持込可)
12:45～14:45	⑦グループ演習 ケース 2 医療者と患者・家族間のコミュニケーションでありがちなケースを採りあげます。 音声で聴き、対応のポイントについて、グループ討議と全体討議を行います。
14:45～15:00	おわりに・まとめ 学んだことを今後活かすには
15:15～ 流れ解散	懇親会 (希望者のみ) 相談支援について、情報交換を行いましょ。う。 お茶とお菓子を準備します (参加費 300 円程度)。

## ●講師紹介

(講師敬称略・順不同)

せき ゆきこ  
関 由起子

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 健康社会学分野を修了後、現在、埼玉大学教育学部准教授。看護師、保健師の現場経験を十数年以上もち、病気を持つ、持たないにかかわらず、様々な人々の健康や保健に関する問題を社会学的手法により研究。現在は国立がん研究センターの研究班と共同で、がん相談の質の向上のための方策について研究を行っている。

しみず なおみ  
清水 奈緒美

神奈川県立看護教育大学校付属看護専門学校を終了後、北里大学大学院看護学研究科がん看護学専攻修士課程修了。がん看護専門看護師。神奈川県立がんセンターに15年以上勤務し、現在は、同センター医療相談支援室長。看護師として、患者・家族の相談に応じる相談業務と療養の場の調整を中心とした医療連携業務を担当。また、看護大学の専任教員の経験をもつほか、都道府県がん診療連携拠点病院の相談支援センターとして主催する研修会の企画・運営を行っている。

はしもと あきこ  
橋本 明子

慢性骨髄性白血病の長男の闘病から、骨髄バンク設立・推進運動に関わる。1994年に造血幹細胞移植を必要とする血液疾患の患者支援団体を立ち上げ、NPO法人血液情報広場・つばさ理事長を現在も務める。厚生科学研究班「小寺班」の骨髄バンク患者相談リーダー、日本白血病研究基金を育てる会の白血病患者相談窓口代表を経て、現在、がん電話情報センター相談主任。15年以上にわたり電話相談を行うとともに、患者・家族に寄り添う各種活動を医療関係者と協同して展開。医療フォーラムの開催、つばさ支援基金の運営、執筆・講演活動のほか、愛児・子喪失家族連絡会「めんどりの集い」代表、骨髄移植推進財団常任理事も務める。

## ●会場へのご案内

- ・都営新宿線「小川町」駅・東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B6出口 徒歩3分
- ・JR山手線「神田」駅・東京メトロ銀座線「神田」駅 徒歩6分
- ・都営三田線・東京メトロ千代田線・丸ノ内線・東西線・半蔵門線「大手町」駅 C1出口徒歩7分
- ・神田アベビルには専用駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。



※研修室へは、正面玄関のエレベーターで5階にお越しく下さい。

## ●お申し込み方法

2011年6月30日(木)までに、メール(ctis-seminar@crsu.org)、またはFAX(03-5842-3438)の場合は以下のお申込用紙に、つぎの内容を記載の上、お送り下さい。

定員に達したところで、締切日以前にもお申し込み受付を締め切る場合がございます。

- ①氏名(漢字・ふりがな)
- ②ご所属名
- ③ご連絡先のお電話番号、FAX番号、メールアドレス

ご参加の確定後、参加費のお支払い方法のお知らせや事前アンケートをお送りします。

- ・お名前やご連絡先の情報は、本セミナーへの登録、および、本団体からの情報提供以外の目的で使用されることはありません。
- ・ご参加の可否につきましては、お申し込みから10日以内にはご連絡いたします。  
日数がたってもお知らせがない場合には、お手数でもお問合せください。

---

### 第1回 がん電話相談支援のブラッシュアップセミナー

## FAX お申し込み用紙 (送信先: 03-5842-3438)

ふりがな 氏名		
ご所属名		
ご連絡先	電 話	FAX
	メール	
■事務局へのお問い合わせ・ご連絡事項がございましたら、お書きください		